

## 施設一体型小中一貫教育学校「女川小学校・女川中学校」が開校しました

8月23日、女川町立女川小学校・女川中学校新校舎の落成式が行われました。新校舎は平成30年12月に建設工事が着工され、令和2年7月15日に完成しました。

建設事業費は約53億5,400万円で、復興交付金が約27億4,700万円、中東のカタールからの支援金約8億6,800万円などが充てられています。

新校舎は4階建てで延べ床面積は約13,000平方メートル、津波に備えて約30メートルの高台に建設されました。また、全教室にエアコンが設置されたほか、屋上プール、人工芝が敷かれた約10,000平方メートルの校庭（グラウンド）なども整備されました。

女川町の須田町長は、式辞で「真新しい環境で勉強やスポーツ、遊びに励んでほしい。地域の大人が全力で支えていく。」と挨拶されました。また、英（はなぶさ）宮城復興局長は、「小・中学校の垣根を超えた交流や、パソコン・タブレットを活用した授業など、この素晴らしい環境で勉強に励み、思いやりの心を大切に、たくましく成長してください。」などと挨拶しました。

児童生徒代表挨拶では、女川小学校6年生の遠藤さんが、「新しい校舎のように大きな夢を持って学び成長し、たくさんの思い出を作りたい。」と抱負を述べ、女川中学校3年生の鈴木さんは、「多くの方々の支援で校舎が完成し、感謝の気持ちでいっぱい。小学生の手本となることを心掛け、明るい未来へ導いていけるように最善を尽くしたい。」と話しました。

同日午前中には2学期の始業式が行われ、新型コロナウイルスの影響で例年より短かった夏休みが終わり、児童生徒が学校中に元気よく挨拶



テープカットの様子（写真提供：女川町）



新築された校舎全景（写真提供：女川町）



普通教室（写真提供：女川町）

揃う声が響きました。

児童生徒の皆さんが、新校舎から女川町の発展に貢献する事が期待される、素晴らしい落成式となりました。



メディアセンター（図書室）（写真提供：女川町）



屋上プール（写真提供：女川町）